

運 營
— 2012年度 —

1. 技術部

(1) 野菜・花き部門

年間の実習に沿った作付け計画を設定し、栽培の作付け体系を充実させることで安定生産を達成することができたと思われる。今年度はフィールド実習（農場実習）を選択した学生数が前期、後期共に2年生が約40名、3年生が約30名と過去数年の中では多く、例年以上に実習の実施に合わせた作業計画が必要となった。また3年生の前期実習では、露地の畑（12㎡/3人）を作物栽培の実践の場として学生が管理しており、定植以降の整枝・摘果・灌水・除草・収穫などの作業を、実習時間及び実習時間外の平日でも学生自身が判断して随時行っている。この実習ではハウレンソウ・葉大根・リーフレタス・トマト・ナス・ピーマン・ししとう・枝豆・トウモロコシ・インゲン豆・モロヘイヤ・シソ・オクラなどを栽培し、収穫した作物も各自で料理して食するようにしている。

また、当農場ではグッドジョブ支援センター（障害者雇用）のスタッフを受け入れており、今年度は12名（現場5名と出荷準備等7名）と共に業務にあたった。袋詰め等の作業場及び農場直売所は、障害を持つスタッフが働きやすいように改装した。グッドジョブ支援センタースタッフの受け入れは4年目となり、今では当センターにとって必要な人材となっている。

作物の作付けは緑肥栽培を組み入れた輪作体系を回り土地の有効利用に努めた。景観作物栽培実習の一環として、10アールのヒマワリ畑やコスモス畑の播種・定植を学生と共に行っている。土作りとして馬術部から‘馬糞’、果樹部より‘剪定木のチップ’、稲作専門の八浜農場より‘もみ殻’、津高牧場より‘牛糞’の提供を受け堆肥作りも行っている。

地域との関わりとしては、サツマイモの収穫体験や一般参加を募っての岡山大学公開講座（育てて食べよう美味しい夏野菜講座）も引き続き行っている。農場直売所は車いすが入れるように改装した。

また支援学校（高校生）の体験実習（毎月1回）として、春はベチュニアのプラグ苗をポットに上げ

る作業（鉢あげ）や、仕上がったポット苗を岡山大学の花壇へ定植する作業の他、枝豆やネギの定植、果樹部でも栽培体験を行っている。秋には、パンジーの定植の他、チューリップやソラマメの定植などを行った。定植後の花壇の灌水や除草等については、グッドジョブ支援センタースタッフが管理を行っている。

1) 果菜類

施設栽培では汎用温室C棟（440㎡）で「らくちん方式・高設式養液栽培」によるイチゴ栽培を行なった。例年は2品種‘女峰’と‘さちのか’を栽培しているが、栽苗後の炭疽病発生の被害により‘さちのか’の作付は例年の10分1となった。親株に炭疽病菌が残っていたと思われる。害虫はダニが発生したが防除サイクルに天敵（チリカブリダニ）を利用したことにより、防除労力の軽減に繋がった。イチゴの手入れは定植後から2月初旬まで学生実習で行った。2月以降のイチゴの管理作業は、グッドジョブ支援センターのスタッフを中心となって行った。

トマト栽培は汎用温室B棟（440㎡）で行った。春作、秋作共に大玉の‘桃太郎ファイト’と中玉の‘シンディースイート’の2品種とした。春作はコナジラミの発生が少なく、薬剤散布を行わなかったが、秋作はコナジラミの発生が多かった。今年度も、裂果の発生は少なかったように思われる。秋作では、トマトの水分吸収量と灌水量の調整遅れで、生長点が葉やけを起こしたため、途中から主茎管理から側枝管理へ切り替えた。

汎用温室A棟では、1月25日にキュウリを播種し、2月28日にプランターへ定植した促成栽培を行ない、4月上旬から5月下旬まで収穫した。品種は‘味サンゴ’‘半白節成り’‘春のめぐみ’の3品種を選定した。その後、きゅうりは露地栽培で‘夏すずみ’を9月末まで収穫した。9月より抑制栽培として汎用温室A棟で‘フリーダム3号’‘味サンゴ’‘よしなり’の3品種を12月中旬まで栽培した。

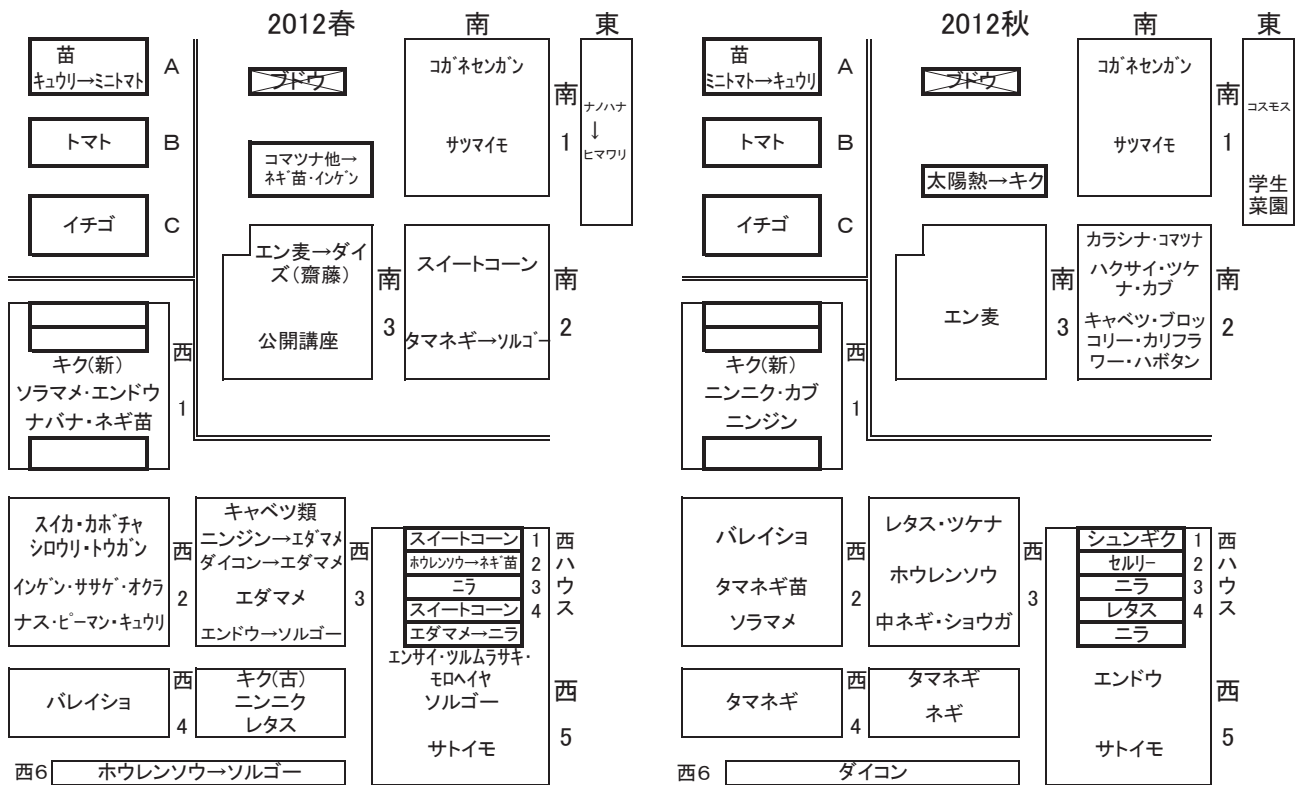


図1 平成24年度野菜花き部担当圃場作付け図

温室と露地を併用することで、4月～12月までキュウリの収穫を行うことができた。

汎用温室A棟でのキュウリの促成栽培後は6月～9月上旬までミニトマトの‘ピコ’を栽培した。

ナスは1月17日に播種し、3月16日に台木に接ぎを行なった。4月17日に学生実習で定植し、ビニールトンネルを使用した。‘長者’‘千両’‘くろわし’の3品種を栽培し、4本仕立てとした。10月15日まで収穫を行った。

ピーマンは4品種‘京鈴’‘伏見甘長’‘甘とう美人’‘鷹のツメ’の栽培を行った。2月28日に播種、3月28日にポットに鉢上げし、4月24日に学生実習で定植を行った。ビニールトンネルは使用しなかった。3本仕立てとし、摘果と整枝を行うことで、10月15日まで収穫することができた。ナス・ピーマンも学生実習の教材で利用し、畝たて、定植、誘引等を行った。

スイカの1作目は2月28日に播種、3月9日に呼び接ぎを行った。4月17日に学生実習で定植した。スイカの2作目は4月6日に播種し4月16日の学生実習で接ぎ木を行った。実習主体で定植から敷き藁・整枝をし、収穫時期はスイカを叩いて適期を判

定する打音検査も行い実際に収穫して食した。

カボチャは3月23日に播種し、4月24日に学生実習で定植を行った。敷き藁、摘心、収穫等も学生実習で行った。

2) 葉菜類

軟弱野菜は同一圃場で集約栽培を行っている。ホウレンソウ・コマツナ・ミズナ・チンゲンサイ・レタス・シロナ・カラシナは各作目とも露地では年2回、春と秋の作付けを行い一部の作目については、ビニルハウスでの栽培を行った。全てマルチ栽培とし、順次収穫した跡地を他作目で再利用して、シーズンで2～3回の作付けを行った。特に秋作は生産に問題は無く栽培が出来た。

収量と作付けの回数ではコマツナが多かった。従来はホウレンソウが主体で栽培を行い販売も好評だったが、秋作の11月中旬頃からベト病が発生し始め、以後の作型全てにベト病が発生した。品種は‘リード’で収量性が非常に高く、春と秋の栽培が可能で当センターに適した品種であったが、来年度からはベト病R-1～8に抵抗性のある品種に切り替える予定である。

表1 平成24年度における野菜耕種概要

作目	圃場	面積(a)	品種	条間	株間	播種(月日)	定植(月日)	収穫(始)	収穫(終)
カンシヨ(1)	南1	3	ベニアズマ	130	25	----	5月14日	10月2日	
カンシヨ(2)	南1	4	ベニアズマ	130	25	----	5月15日		
カンシヨ(3)	南1	7	ベニアズマ	130	25	----	5月22日		
カンシヨ(4)	南1	2.4	ベニアズマ	130	25	----	6月15日		
カンシヨ(5)	南1	2.4	ベニアズマ	130	25	----	6月18日		11月10日
カンシヨ(6)	南1	2	コガネセンガン	130	25	----	5月22日	11月2日	
カンシヨ(7)	南1	5.7	コガネセンガン	130	25	----	6月25日		11月10日
エダマメ(1)	ハウス西5	1.5	サツポロミドリ	65	20	3月9日	3月26日	6月11日	6月18日
エダマメ(2)	西3	1.5	宝石	65	20	3月7日	3月29日	6月18日	6月20日
エダマメ(3)	西3	1.5	宝石	65	20	3月23日	4月9日	6月20日	6月26日
エダマメ(4)	西3	1.5	宝石	65	20	4月3日	4月16日	6月27日	7月2日
エダマメ(5)	西3	1.5	宝石	65	20	4月11日	4月23日	7月2日	7月10日
エダマメ(6)	西3	1.5	サヤムスメ	65	20	4月20日	5月1日	7月10日	7月18日
エダマメ(7)	西3	0.5	サヤムスメ	65	20	5月2日	5月11日	7月26日	7月31日
エダマメ(8)	西1	1.5	サヤムスメ	65	20	5月2日	5月14日	7月27日	7月27日
エダマメ(9)	西3	1.5	北海黒豆	65	20	5月2日	5月11日	7月23日	7月27日
エダマメ(10)	西6	1.5	北海黒豆	65	20	5月15日	5月29日	7月31日	8月3日
エダマメ(11)	西6	1.5	大勝白毛	65	20	5月24日	6月5日	8月8日	8月10日
エダマメ(12)	西1	1.75	大勝白毛	65	20	6月1日	6月11日	8月20日	8月23日
エダマメ(13)	南緑地帯	1	丹波黒	130	40	7月3日	7月13日	10月22日	10月25日
スイートコーン(1)	ハウス西2	1.5	カクテル600	65	40	3月6日	4月12日	6月6日	6月14日
スイートコーン(2)	ハウス西1	1.5	カクテル600	65	40	3月23日	4月12日	6月21日	6月14日
スイートコーン(3)	南2	0.6	カクテル600	65	40	3月6日	4月12日	6月15日	6月18日
スイートコーン(4)	南2	0.6	カクテル600	65	40	3月16日	4月12日	6月19日	6月20日
スイートコーン(5)	南2	1.8	カクテル600	65	40	4月11日	4月25日	6月26日	7月4日
スイートコーン(6)	南2	1.8	カクテル600	65	40	4月20日	5月7日	7月9日	7月12日
スイートコーン(7)	南2	1.8	ゴールドラッシュ	65	40	5月2日	5月14日	7月13日	7月20日
スイートコーン(8)	南2	0.6	ゴールドラッシュ	65	40	5月2日	5月23日	7月23日	7月23日
スイートコーン(9)	南2	0.3	カクテル600	65	40	5月2日	5月23日	7月24日	7月24日
スイートコーン(10)	南2	1.8	カクテル600	65	40	5月15日	5月29日	7月25日	7月27日
スイートコーン(11)	南2	1.8	ゴールドラッシュ	65	40	5月24日	6月7日	8月1日	8月6日
スイートコーン(12)	南2	0.3	ゴールドラッシュ	60	30	5月24日	6月15日	8月7日	8月7日
スイートコーン(13)	南2	0.2	カクテル600	60	30	5月24日	6月15日	8月7日	8月7日
春カンラン(1)	西3	0.5	マルシェ	65	30	1月30日	3月16日	5月24日	6月12日
春カンラン(2)	西3	0.5	春波	65	30	1月30日	3月16日	5月25日	6月13日
春カンラン(3)	西3	0.5	金系	65	30	2月17日	3月16日	5月24日	6月13日
秋カンラン(1)	南2	0.6	彩里	65	30	8月8日・16日	9月5日	11月8日	12月14日
秋カンラン(2)	南2	1.2	湖月	65	40	8月8日・16日	9月5日	11月15日	1月28日
秋カンラン(3)	南2	0.4	湖月	65	40	8月24日	9月14日	12月17日	1月28日
秋カンラン(4)	南2	0.8	湖月	65	40	8月24日	9月26日		
春ブロッコリー(1)	西3	0.5	ハイツ	65	40	2月3日	3月16日	5月17日	5月30日
春ブロッコリー(2)	西3	0.8	ハイツ	65	40	2月3日	3月21日	5月22日	6月6日
秋ブロッコリー(1)	南2	0.6	ハイツ	65	40	8月8日・16日	9月5日	11月8日	12月18日
秋ブロッコリー(2)	南2	1	ハイツ	65	40	8月24日	9月14日	11月14日	12月25日
春カリフラワー(1)	西3	0.5	スノークラウン	65	40	2月3日	3月16日	5月17日	5月28日
春カリフラワー(2)	西3	0.2	スノークラウン	65	40	2月3日	3月21日	5月22日	6月4日
秋カリフラワー(1)	南2	1.2	スノークラウン	65	40	8月8日・16日	9月5日	11月19日	1月15日
秋カリフラワー(2)	南2	0.2	スノークラウン	65	40	8月24日	9月14日	11月20日	1月15日
春ホウレンソウ(1)	ハウス西1	0.5	リード	65	15	2月13日	---	4月12日	4月17日
春ホウレンソウ(2)	西6	0.5	リード	65	15	3月6日	3月26日	4月23日	4月27日
春ホウレンソウ(3)	西6	0.5	リード	65	15	3月24日	---	5月1日	5月1日
春ホウレンソウ(4)	西6	0.5	リード	65	15	3月19日	---	5月7日	5月11日
春ホウレンソウ(5)	西6	0.5	リード	65	15	4月5日	---	5月14日	5月16日
春ホウレンソウ(6)	西6	0.5	リード	65	15	4月13日	---	5月17日	5月21日
春ホウレンソウ(7)	西6	0.5	リード	65	15	4月19日	---	5月22日	5月23日
秋ホウレンソウ(1)	西3	0.5	リード	65	15	8月30日	---	10月4日	10月5日
秋ホウレンソウ(2)	西3	0.5	リード	65	15	9月5日	---	10月10日	10月16日
秋ホウレンソウ(3)	西3	0.5	リード	65	15	9月11日	---	10月17日	10月26日
秋ホウレンソウ(4)	西3	0.5	リード	65	15	9月19日	---	10月26日	11月6日
秋ホウレンソウ(5)	西3	0.5	リード	65	15	9月25日	---	11月5日	11月13日
秋ホウレンソウ(6)	西3	0.5	リード	65	15	10月1日	---	11月14日	11月27日
秋ホウレンソウ(7)	西3	0.5	リード	65	15	10月9日	---	11月27日	11月30日
秋ホウレンソウ(8)	西3	0.5	リード	65	15	10月16日	---	1月29日	1月31日
秋ホウレンソウ(9)	西3	0.5	リード	65	15	10月23日	---		
秋ホウレンソウ(10)	西3	0.5	リード	65	15	11月1日	---		
秋ホウレンソウ(11)	西3	0.5	リード	65	15	11月7日	---		
秋ホウレンソウ(12)	ハウス西2	1	リード	65	15	11月7日	---	1月22日	
秋ホウレンソウ(13)	ハウス西2	1	リード	65	条播	11月7日	---	1月22日	

作目	圃場	面積(a)	品種	条間	株間	播種(月日)	定植(月日)	収穫(始)	収穫(終)
ネギ(1)	ハウス西4	1.5	九条ネギ	32.5	条播	3月28日	---	6月18日	7月6日
ネギ(2)	西1	0.7	九条ネギ	--	条播	4月6日	---	6月18日	8月1日
ネギ(3)	西1	0.3	赤ネギ	--	条播	4月6日	---	7月26日	8月1日
中ネギ(1)	西3	1.5	九条ネギ	65	20	4月6日	6月26日	9月21日	1月11日
中ネギ(2)	西3	1.5	九条ネギ	65	20	3月28日	6月26日	1月11日	1月11日
中ネギ(3)	西3	2	九条ネギ	65	20	3月28日	7月10日	10月9日	12月6日
中ネギ(4)	西3	0.5	九条ネギ	65	20	3月28日	7月17日	10月2日	10月3日
ネギ(1)	西4	4	九条ネギ	90	27	4月6日	8月7日	12月17日	
ネギ(2)	西4	2	赤ネギ	90	27	4月6日	8月9日	12月17日	
春レタス(R1)	ハウス西2	0.5	レッドウエーブ	65	20	1月30日	3月2日	4月3日	4月10日
春レタス(R2)	西4	0.5	レッドウエーブ	65	20	2月23日	3月25日	5月8日	5月11日
春レタス(R3)	西4	0.5	レッドウエーブ	65	20	2月23日	4月17日	5月18日	5月29日
春レタス(S1)	西4	0.5	シスコ	65	30	2月3日	3月19日	5月14日	5月22日
春レタス(S2)	西4	0.5	シスコ	65	30	3月5日	4月13日	5月29日	6月13日
秋レタス(R1)	西3	0.4	レッドウエーブ	65	20	8月24・27・31日	9月26日	10月30日	11月21日
秋レタス(R2)	西3	0.5	レッドウエーブ	65	20		10月24日	12月19日	1月16日
秋レタス(R3)	西3	0.5	レッドウエーブ	65	20		10月24日	1月17日	1月29日
秋レタス(R4)	西3	0.5	レッドウエーブ	65	20		10月31日	1月29日	1月31日
秋レタス(S1)	西3	1.5	シスコ	65	30	9月7日	9月26日	11月12日	12月6日
秋レタス(S2)	西3	0.7	シスコ	65	30	9月14日	10月10日	12月25日	1月31日
秋レタス(S3)	ハウス西2	0.5	シスコ	65	30		10月18日	1月7日	1月16日
秋レタス(S4)	ハウス西4	1	シスコ	65	30		10月26日	1月21日	2月8日
ニラ(1)	ハウス西3	1.5	大葉	65	10			4月5日	
ニラ(2)	ハウス西5	1.5	大葉	65	10	3月23日	6月26日	10月9日	
ニンニク(1)	西4	1.5	中国産	43	15	10月26日	---	5月29日	5月29日
ニンニク(2)	西4	0.5	中国産	43	15	2月24日	---	6月11日	6月11日
ニンニク(2)	西4	0.5	ホワイト六片	43	15	10月26日	---	6月1日	6月1日
春ミズナ(1)	ハウス西1	0.5	京みぞれ	65	15	2月17日	3月19日	4月11日	4月18日
春ミズナ(2)	西3	0.3	京みぞれ	65	15	2月17日	3月21日	4月25日	5月7日
秋ミズナ(1)	南2	0.6	京みぞれ	65	20	8月24日	9月13日	10月9日	10月17日
秋ミズナ(2)	南2	0.6	京みぞれ	65	20	8月31日	9月13日	10月18日	
秋ミズナ(3)	西3	0.5	京みぞれ	65	20	9月14日	10月2日	11月1日	11月27日
秋ミズナ(4)	南2	0.6	京みぞれ	65	20	9月24日	10月22日	11月30日	12月7日
秋ミズナ(5)	南2	0.6	京みぞれ	65	20	10月1日	10月26日	12月10日	12月25日
秋ミズナ(6)	南2	0.6	京みぞれ	65	20	10月5日	10月31日	12月27日	
秋ミズナ(7)	南2	0.6	京みぞれ	65	20	10月5日	11月6日	1月31日	
コマツナ(1)	ハウス西2	0.5	夏楽天	65	20	2月23日		4月3日	4月9日
コマツナ(2)	西4	0.5	夏楽天	65	20	3月22日	---	5月8日	5月10日
コマツナ(3)	西4	0.5	夏楽天	65	20	4月2日	---	5月9日	5月14日
秋コマツナ(1)	西3	0.5	夏楽天	65	20	8月27日	---	9月19日	9月25日
秋コマツナ(2)	西3	0.5	夏楽天	65	20	9月4日	---	9月27日	10月3日
秋コマツナ(3)	西3	0.5	夏楽天	65	20	9月11日	---	10月4日	10月9日
秋コマツナ(4)	西3	0.5	夏楽天	65	20	9月20日	---	10月16日	10月24日
秋コマツナ(5)	西3	0.5	夏楽天	65	20	9月24日	---	10月24日	10月31日
秋コマツナ(6)	西3	0.5	夏楽天	65	20	10月1日	---	11月5日	11月20日
秋コマツナ(7)	西3	0.5	夏楽天	65	20	10月4日	---	11月21日	12月20日
秋コマツナ(8)	西3	0.5	夏楽天	65	20	10月4日	---	11月26日	12月4日
秋コマツナ(9)	西3	0.5	夏楽天	65	15	10月19日	---	12月25日	1月11日
秋コマツナ(10)	ハウス西3	1	夏楽天	65	条播	1月23日	---		
秋コマツナ(11)	ハウス西3	1	夏楽天	43	条播	1月25日	---		
サトイモ(1)	西5	1.5	赤芋	110	60	4月16日	---	12月3日	12月3日
サトイモ(2)	西5	3	石川早生	110	60	4月16日	---	10月29日	12月3日
サトイモ(3)	西5	5	エグイモ	110	60	4月16日	---	11月8日	12月5日
春コカブ(1)	西3	0.5	耐病ひかり	65	20	2月29日	---	4月13日	4月25日
秋コカブ(1)	西1	0.5	耐病ひかり	65	20	8月30日	---	9月24日	10月22日
秋コカブ(2)	西1	0.5	耐病ひかり	65	20	9月4日	---	10月2日	10月31日
秋コカブ(3)	西1	0.5	耐病ひかり	65	20	9月11日	---	10月15日	11月20日
秋コカブ(4)	西1	0.5	耐病ひかり	65	20	9月21日	---	11月13日	12月21日
秋コカブ(5)	西1	0.5	耐病ひかり	65	20	9月28日	---	12月25日	1月28日
秋コカブ(6)	西1	0.5	耐病ひかり	65	20	10月5日	---	1月28日	
春ダイコン(1)	西3	0.5	4月早生	65	20	3月14日	---	5月21日	5月30日
春ダイコン(2)	西3	0.5	大師	65	20	3月21日	---	5月24日	6月12日
春ダイコン(3)	西3	0.5	おはる	65	20	4月2日	---	5月31日	6月20日
春ダイコン(4)	西3	0.5	おはる	65	20	4月9日	---	6月6日	6月20日
秋ダイコン(1)	西6	0.5	耐病総太り	65	20	9月5日	---	11月5日	12月18日
秋ダイコン(2)	西6	0.5	耐病総太り	65	20	9月10日	---	11月6日	12月18日
秋ダイコン(3)	西6	0.5	耐病総太り	65	20	9月19日	---	11月20日	12月18日

作目	圃場	面積(a)	品種	条間	株間	播種(月日)	定植(月日)	収穫(始)	収穫(終)
秋ダイコン(4)	南2	0.6	耐病総太り	65	20	9月26日	---	12月4日	1月8日
秋ダイコン(5)	南2	0.6	耐病総太り	65	20	10月4日	---	12月18日	1月28日
秋ダイコン(6)	西6	0.3	宮重	65	20	9月20日	---	11月28日	12月5日
春ニンジン(1)	西3	0.5	向陽2号	32	10	2月27日	---	5月28日	6月18日
春ニンジン(2)	西3	0.5	向陽2号	32	10	2月28日	---	5月29日	6月18日
春ニンジン(3)	西3	0.5	向陽2号	32	10	3月16日	---	6月12日	7月2日
春ニンジン(4)	西3	0.5	向陽2号	32	10	3月27日	---	6月28日	7月2日
春ニンジン(5)	西3	0.5	向陽2号	32	10	4月4日	---	7月9日	7月10日
秋ニンジン(1)	西1	0.5	向陽2号	32	10	9月3日	---	11月6日	11月29日
秋ニンジン(2)	西1	0.5	向陽2号	32	10	8月30日	---	11月8日	11月29日
秋ニンジン(3)	西1	0.6	向陽2号	32	10	9月12日	---	12月3日	12月18日
秋ニンジン(4)	西1	0.5	向陽2号	32	10	9月12日	---	12月5日	1月15日
秋ニンジン(5)	西1	0.5	金時	32	10	9月6日	---	12月10日	1月16日
春バレイショ(1)	西4北	1	ダンシャク	130	20	3月16日	---	6月5日	6月5日
	西4北	2	ダンシャク	100	25	3月16日	---	6月6日	6月6日
春バレイショ(2)	西4北	1	メイクイン	130	20	3月16日	---	6月5日	6月5日
	西4北	1.5	メイクイン	100	25	3月16日	---	6月6日	6月6日
春バレイショ(3)	西4北	1	デジマ	130	20	3月16日	---	6月5日	6月5日
	西4北	1.5	デジマ	100	25	3月16日	---	6月14日	6月14日
春バレイショ(4)	西4北	1.8	アンデス	130	20	3月16日	---	6月5日	6月5日
	西4北	0.5	アンデス	100	25	3月16日	---	6月14日	6月14日
秋バレイショ(1)	西2	1.5	デジマ	130	25	9月13日	---	11月27日	11月27日
	西2	4	デジマ	100	27	9月13日	---	11月22日	11月22日
秋バレイショ(2)	西2	0.5	アンデス	130	25	9月13日	---	11月27日	11月27日
	西2	1	アンデス	100	27	9月13日	---	11月22日	11月22日
セロリー(1)	ハウス西2	1	トップセラー	65	30	6月19日	8月27日	12月3日	1月16日
チンゲンサイ(1)	ハウス西2	0.5	青武	65	20	1月30日	3月5日	4月3日	4月9日
チンゲンサイ(2)	ハウス西1	0.5	青武	65	20	2月23日	3月2日	4月10日	4月16日
チンゲンサイ(3)	西4	0.5	青武	43	20	2月3日	3月19日	4月19日	4月23日
チンゲンサイ(4)	西3	0.75	青武	65	20	2月3日	3月21日	4月24日	5月1日
チンゲンサイ(1)	南2	0.6	青武	65	20	8月16日	9月13日	10月3日	10月15日
チンゲンサイ(2)	南2	0.6	武帝	65	20	8月24日	9月14日	10月3日	10月15日
チンゲンサイ(3)	南2	0.6	武帝	65	20	8月31日	9月21日	10月16日	10月22日
チンゲンサイ(4)	南2	0.6	武帝	65	20	9月18日	10月3日	10月24日	10月31日
チンゲンサイ(5)	西3	0.25	武帝	65	20	9月18日	10月10日	11月14日	11月21日
チンゲンサイ(6)	南2	0.6	武帝	65	20	9月24日	10月22日	11月27日	12月3日
チンゲンサイ(7)	南2	0.6	武帝	65	20	10月1日	10月31日	12月3日	1月28日
チンゲンサイ(8)	西3	0.5	武帝	65	20	11月2日	11月2日	1月29日	1月31日
チンゲンサイ(9)	南2	0.5	武帝	65	20	10月5日	11月6日	2月1日	2月4日
ハクサイ(1)	南2	1.2	無双	65	30	8月17日	9月5日	12月10日	1月8日
ハクサイ(2)	南2	0.6	黄ごころ65	65	30	8月8日	9月5日	12月10日	1月8日
ハクサイ(3)	南2	0.6	黄ごころ75	65	40	8月16日・24日	9月5日	1月10日	1月24日
ハクサイ(4)	南2	0.6	黄ごころ85	65	40	8月16日・24日	9月5日	1月10日	1月24日
ハクサイ(5)	南2	0.6	無双	65	30	9月18日	---	12月18日	1月18日
シュンギク(1)	ハウス西1	1.5	大葉シュンギク	65	20	9月7日	---	10月17日	
タカナ(1)	南2	0.6	三池大葉縮緬タカナ	65	30	9月14日	10月3日	11月8日	12月17日
タカナ(2)	南2	0.6	三池大葉縮緬タカナ	65	30	9月28日	10月26日	12月19日	1月8日
タカナ(3)	西3	0.5	三池大葉縮緬タカナ	65	20	9月28日	11月6日	1月29日	
シロナ(1)	西3	0.5	みなとべかな	65	20	8月27日	---	9月19日	9月26日
シロナ(2)	西3	0.5	みなとべかな	65	15	9月4日	---	10月1日	10月11日
シロナ(3)	西3	0.5	みなとべかな	65	15	9月11日	---	10月4日	10月29日
シロナ(4)	西3	0.5	みなとべかな	65	15	9月20日	---	10月29日	12月10日
カラシナ(1)	南2	0.6	うまから菜	65	20	8月31日	9月14日	10月5日	10月25日
カラシナ(2)	南2	0.6	うまから菜	65	20		9月21日	10月26日	1月23日
カラシナ(3)	南2	0.6	うまから菜	65	20	9月18日	10月9日	11月1日	12月5日
エンドウ(1)	西5	0.2	スナック	65	40	11月11日		5月1日	5月21日
エンドウ(2)	西5	0.8	キヌサヤ	65	40	11月11日		5月2日	5月21日
エンドウ(1)	西3	0.5	スナック	130	40	11月8日	12月14日		
エンドウ(2)	西3	0.5	久留米豊	130	40	11月8日	12月14日		
タマネギ(マルチ使用)	西4	1.5	立春のかほり, 黄のぞみ, 貝塚早生	65	12	9月12日	11月7日(2012年)	4月(2013年)	4月23日(2013年)
タマネギ(マルチ使用)	西4	1	狸々赤	65	12	9月21日	11月13日(2012年)	4月25日(2013年)	5月10日(2013年)

作目	圃場	面積(a)	品種	条間	株間	播種(月日)	定植(月日)	収穫(始)	収穫(終)
タマネギ	西 4	1	オメガ	65	12	9月21日	11月13日(2012年)	5月7日(2013年)	5月15日(2013年)
タマネギ	西 4	6.5	ターボ	65	12	9月21日	11月20日(2012年)	5月21日(2013年)	5月28日(2013年)
タマネギ	西 4	1	ネオアース	65	12	9月21日	11月27日(2012年)	5月28日(2013年)	5月28日(2013年)
ナス	西 2	0.6	千両2号	1.8	60	1月17日	4月17日	6月19日	10月19日
ナス	西 2	0.9	長者	1.8	60	1月17日	4月17日	6月19日	10月19日
ナス	西 2	0.3	くろわし	1.8	60	1月17日	4月17日	6月19日	10月19日
ピーマン	西 2	0.6	京鈴	1.8	60	2月28日	4月24日	6月19日	10月15日
ピーマン	西 2	0.3	伏見甘長	1.8	60	2月28日	4月24日	6月19日	10月15日
ピーマン	西 2	0.3	甘とう美人	1.8	60	2月28日	4月24日	6月19日	10月15日
スイカ	西 2	3.2	夏武輝	400	100	4月4日	5月14日	4月17日	4月30日
スイカ	西 2	1.6	秀山	400	100	2月28日	4月17日	4月17日	4月30日
カボチャ	西 2	1.6	つるなしやっこ	400	100	3月23日	4月24日	7月24日	7月27日
カボチャ	西 2	1.6	はやと・夢見	400	100	3月23日	4月24日	7月24日	7月27日
カボチャ	西 2	0.8	赤ずきん	400	100	3月23日	4月24日	7月24日	7月27日
カボチャ	西 2	0.8	みやこ	400	100	3月23日	4月24日	7月24日	7月27日
キュウリ(1)	西 2	0.3	夏すずみ	1.8	30	5月16日	5月31日	6月29日	8月9日
キュウリ(2)	西 2	0.3	夏すずみ	1.8	30	6月12日	6月26日	7月20日	9月10日
キュウリ(3)	汎用温室 A	2.2	北蓬・味サング・京しずく・つや太郎	100	50	1月26日	2月28日	4月5日	5月30日
キュウリ(4)	汎用温室 A	2.2	フリーダム3号・味サング・よしなり	100	50	8月24日	9月6日	10月1日	12月5日
オクラ(1)	西 2	1.2	グリーンソード	65	30	5月1日	5月23日	6月29日	10月10日
オクラ(2)	西 2	0.6	グリーンソード	65	30	5月25日	6月11日	7月9日	10月10日
クウシンサイ	西 5	1.2	クウシンサイ	65	40	5月1日	5月23日	6月18日	10月10日
ツルムラサキ	西 5	1.2	ツルムラサキ	65	40	5月1日	5月23日	6月18日	9月27日
モロヘイヤ	西 5	1.2	モロヘイヤ	65	40	5月1日	5月23日	6月18日	9月7日
ソラマメ	西 1	2.5	打越一寸	65	40	10月24日(2011年)	11月11日(2011年)	5月9日(2012年)	5月30日(2012年)
インゲンマメ	西 2	1.2	つるなしモロッコ	65	40	4月4日	5月16日	6月21日	7月10日
トマト(春作)	汎用温室 B	2.2	桃太郎ファイト	100	12	1月4日	2月16日	5月21日	7月20日
トマト(春作)	汎用温室 B	2.2	シンディースイート	100	12	1月4日	2月16日	5月7日	7月12日
トマト(秋作)	汎用温室 B	2.2	桃太郎ファイト	100	12	7月27日	8月8日	11月5日	1月21日(2013年)
トマト(秋作)	汎用温室 B	2.2	シンディースイート	100	12	7月27日	8月8日	10月26日	1月21日(2013年)
イチゴ	汎用温室 C	2.2	さちのか	100	20	7月11日(2011年)	9月20日(2011年)	1月10日(2012年)	6月14日
イチゴ	汎用温室 C	2.2	女峰	100	20	7月11日(2011年)	9月20日(2011年)	1月10日(2012年)	6月14日

ハクサイは過去数年、結球葉が褐変する生理障害が発生した。対策として化成肥料はイオウを含む物を選択し、窒素成分も少なくした。堆肥の投入も行った結果、障害は減少し成果は有った。今年度は育苗から定植と順調に推移したが害虫駆除の遅滞から収穫が半分しか出来ない区等が有り多くを廃棄した。注意して管理防除を行いたい。

カンラン・ブロッコリー・カリフラワーは春と秋の年2回の作付けを行っている。春作は作期が短く抽苔が早い。高温のため腐廃も多発する。その為、栽培面積を少なくし、主に秋作を主体に栽培を行っている。7～8月播種の育苗は高温障害と灌水不足による発芽不良から十分な苗の確保が出来ず苦慮した。セルリーの育苗も同様で十分な灌水管理が行える様にしたい。

ネギは‘九条ネギ’と‘赤ネギ’の2品種を栽培している。‘九条ネギ’は細ネギ・中ネギ用としても収穫を行っている。3月28日にビニルハウス栽培で細ネギ栽培として播種を行い、6月18日から8月1日まで収穫を行った。4月6日に露地栽培で中ネギと本ネギ栽培用の育苗として播種し苗作りを行った。中ネギ栽培としてはエダマメ栽培の収穫後の跡地マルチフィルム畦を利用して苗を定植した。学生実習及びグッドジョブ支援センタースタッフと共に、6月26日から7月17日まで定植を行い9月21日から1月11日まで収穫を行った。本畑ネギ栽培は倉敷作陽大学の共同利用実習で8月7日と9日に定植を行い、12月17日から4月5日まで収穫を行った。‘赤ネギ’は4月6日に播種を行い、8月9日に定植、12月17日から3月22日まで収穫を

表2 平成24年度における野菜・花きの販売量

作 目	品 種	面積 (a)	収量 (kg)	売払金額 (円)
イチゴ	女峰	2.2	436	536,723
イチゴ	さちのか	2.2	349	433,150
インゲンマメ	ツルなしモロッコ	1.2	54	41,673
エダマメ	宝石 他	18.3	2706	754,236
エンドウ	ツタンカーメン	1.2	172	143,979
オクラ	グリーンソード	1.6	308	148,828
カブ	ひかり	3.5	1144	185,471
カボチャ	エビス・隼人・利休	4.8	245	24,326
カリフラワー	スノークラウン	2.1	403	92,470
カンラン	彩里・マルシェ	4.5	1856	219,717
カラシナ	うまから菜	1.8	135	25,655
キュウリ (温室)	北進・味さんご	4.4	1616	388,322
キュウリ	夏すずみ	0.6	372	74,996
キンウリ	金俵	0.8	178	44,590
クウシンサイ		1.2	300	99,673
コマツナ (ハウス)	浜美2号	3.0	486	159,180
コマツナ (露地)	浜美2号	5.5	838	251,166
ゴーヤ	さつま大長れいし	0.3	30	10,922
ササゲ	清流	0.6	184	74,950
サツマイモ	ベニアズマ	26.5	6430	1,160,573
サトイモ	エグイモ・石川早生	7.5	1420	250,297
シュンギク	大葉	1.5	640	318,813
ショウガ		1.0	45	34,801
シロナ	みなとべかな	2.0	515	78,311
スイートコーン	カクテル・ゴールドラッシュ	13.8	3230	365,860
スイカ	夏武輝・瑞祥	4.8	966	96,690
ズッキーニ	ダイナー	0.3	67	32,276
セロリ	コーネル	1.0	457	122,433
ソラマメ	打越一寸	4.8	372	157,872
ターサイ		0.6	27	10,148
ダイコン	大師・四月早生・耐病総太り	7.7	2326	230,539
タカナ	三池大葉	1.7	143	25,963
タマネギ (白)	ソニック・ターボ他	9.0	3311	467,071
タマネギ (赤)	猩々赤		573	116,178
タマネギ (苗)	ターボ	0.3	5195	25,975
チンゲンサイ (ハウス)	青武	1.0	226	85,540
チンゲンサイ (露地)	青武	6.1	460	104,651
ツルムラサキ		1.2	298	88,257
トウガン	長とうがん	0.8	180	17,755
トマト	桃太郎ファイト他	8.8	2841	1,782,546
ナス	長者, 千両, くろわし	1.8	1845	409,872
ナバナ		0.6	52	25,880
ニラ	大葉	3.0	539	215,899
ニンジン	向陽2号 他	5.1	1651	339,947
ニンニク	ホワイト六片	2.5	106	84,242
ネギ (ハウス)	九条	1.5	119	60,797
ネギ	九条	10.5	1440	389,489
赤ネギ		2.0	785	169,254
ハクサイ	黄こころ・無双	3.6	1122	146,502
ハダイコン	葉太郎	0.6	73	28,022
ハボタン	ハト, スズメ	0.6	530	75,010
バレイショ	男爵・メークイン・アンデス	17.3	1694	315,773
ブロッコリー	ハイテ	2.9	291	138,704
ハウレンソウ (ハウス)	リード 他	2.5	119	46,259
ハウレンソウ (露地)	リード 他	8.5	1011	324,977
マビキナ	人参・大根		188	64,066
ミズナ	京みぞれ 他	4.3	683	178,073
メロン	プリンス	0.8	97	24,529
モロヘイヤ		1.2	189	63,657
レタス	シスコ	4.7	649	148,373
レタス	レッドウェーブ	3.4	304	101,238
落花生		1.8	79	61,502
花き苗	ベチュニア 他		8535 本	659,800
ハウス菊	轟 他	0.5	834 本	53,650
露地キク	美林 他	3.0	3198 本	141,520
電照キク	セイснаップ	0.5	313 本	21,800
電照キク	ローズ舞風車	0.5	238 本	16,200
計		243.9	55102	13,587,611

表3 2012防除履歴

エダマメ			
月日	薬品名	倍率等	備考
5月10日	アデオオン乳剤	2000	
6月7日	アグロスリン乳剤	2000	
7月4日	アフアーム乳剤	1000	

ダイコン			
月日	薬品名	倍率等	備考
4月27日	アフアーム乳剤	1000	春ダイコン
9月5日	デナボンベイト		秋ダイコン(1)
9月11日	デナボンベイト		秋ダイコン(2)
9月19日	デナボンベイト		秋ダイコン(3)
9月26日	デナボンベイト		秋ダイコン(4)
10月4日	デナボンベイト		秋ダイコン(5)
9月11日	アフアーム乳剤	2000	(1)
9月13日	アフアーム乳剤	2000	(2)
9月27日	アフアーム乳剤	2000	(3)
10月11日	アフアーム乳剤	2000	(3),(4),(5)
10月22日	アフアーム乳剤	2000	(5)
11月16日	エスマルクBT剤	1000	(3),(4),(5)
11月22日	エスマルクBT剤	1000	(5)

キャベツ (夏播き)			
月日	薬品名	倍率等	備考
9月3日	オルトラン粒剤		育苗
9月13日	アデオオン乳剤	2000	
9月19日	ハチハチフロアブル	1000	
9月21日	オルトラン粒剤	1g/1株	
10月5日	ハチハチフロアブル	1000	
10月11日	アデオオン乳剤	2000	
10月15日	ラービン乳剤	1000	
	ダコニール1000	1000	

レタス			
月日	薬品名	倍率等	備考
9月3日	アフアーム乳剤	1000	春レタス
9月13日	カンタス	1000	
9月19日	アデオオン乳剤	2000	
9月21日	アフアーム乳剤	1000	秋レタス (RD, SK)
10月5日	ハチハチフロアブル	1000	
10月11日	アデオオン乳剤	2000	
10月15日	ロブラール	1000	
	エスマルクBT剤	1000	

コマツナ			
月日	薬品名	倍率等	備考
4月12日	アフアーム乳剤	2000	春コマツナ
	カンタス	1000	西4の南
9月11日	アフアーム乳剤	2000	(1)・(2)
9月13日	アフアーム乳剤	2000	(1)・(2)
9月27日	アフアーム乳剤	2000	(3)・(4)
10月1日	アフアーム乳剤	2000	(4)・(5)
10月11日	アフアーム乳剤	2000	(5)・(6)・(7)
10月22日	アフアーム乳剤	2000	(6)・(7)

ハクサイ			
月日	薬品名	倍率等	備考
9月3日	アフアーム乳剤	2000	育苗
9月11日	アフアーム乳剤	2000	(3)(4)(5)
9月13日	アフアーム乳剤	2000	5畦
9月19日	ハチハチフロアブル	1000	
	デナボンベイト	6kg/10a	
9月21日	オルトラン粒剤	1g/1株	
10月5日	ハチハチフロアブル	1000	
10月15日	ラービン乳剤	1000	
	ダコニール1000	1000	
10月24日	アデオオン乳剤	2000	
11月2日	エスマルクBT剤	1000	
11月30日	ランマン乳剤	2000	

ネギ			
月日	薬品名	倍率等	備考
6月7日	アグロスリン乳剤	2000	苗
6月28日	オンコル粒剤	6kg/10a	定植時(3)(4)
6月29日	オンコル粒剤	6kg/10a	定植時(5)(6)
7月10日	オンコル粒剤	6kg/10a	定植時(7)(8)
7月17日	オンコル粒剤	6kg/10a	定植時(9)
8月10日	オンコル粒剤	6kg/10a	定植時・西4
8月30日	アドマイヤー粒剤	4kg/10a	西3(3)(4)
	アグロスリン乳剤	2000	西3(1)(2)
9月13日	アデオオン乳剤	2000	西3・西4
9月21日	アドマイヤー粒剤	4kg/10a	西4
10月11日	アデオオン乳剤	2000	(1)・(2)・(3)
11月27日	アフアーム乳剤	2000	
	ランマン乳剤	2000	

タマネギ			
月日	薬品名	倍率等	備考
2月24日	ランマン乳剤	2000	
	スミチオン乳剤	1000	
4月19日	ホライズンドライフロアブル	2500	
11月1日	スミチオン乳剤	700	次年度用苗
	ジマンダイセン	500	

スイカ			
月日	薬品名	倍率等	備考
4月17日	オンコル粒剤	1g/株	
6月7日	スクレタン	500	
	カスケード乳剤	2000	
	アクタラ	3000	
6月18日	モスピラン水和剤	2000	
6月26日	フォリオブラボ	1000	
	アルパリン	2000	
7月9日	アミスター	2000	
	アグロスリン	2000	

ピーマン・トウガラシ			
月日	薬品名	倍率等	備考
6月7日	サンヨール	7000	
	カスケード乳剤	2000	
6月18日	モスピラン水和剤	4000	
	ダコニール	1000	
7月9日	アミスター	2000	
	アグロスリン	2000	
7月30日	マイトコーネ	1000	
	ダコニール	1000	
8月8日	ハチハチ乳剤	1000	
	ロブラール水和剤	1500	
8月25日	エスマルク	1000	
	カンタス	1000	
9月12日	アミスター	2000	
	コルト	4000	
	アカリタッチ	2000	

イチゴ			
月日	薬品名	倍率等	備考
2月24日	ダニサラバ	1000	
	フルビカ	2000	
4月19日	フルビカ	2000	
5月14日	カスケード	4000	
	スピノエース	5000	
	バイコラール	5000	
6月26日	マラソン	2000	親株
	ストロビー	3000	
7月9日	モレスタン	3000	次年度用苗
7月11日	ディブテックス	1000	
	オーソサイド	800	
7月19日	アグロスリン	2000	
	トリフミン	3000	
8月8日	ゲッター	1000	
	チェス顆粒水和剤	5000	
8月20日	キノンドー	500	
	アミスター	1500	
8月24日	バイコラール	2500	
8月28日	デラン	1000	
9月4日	ベルコート	1000	
	ジマンダイセン	600	
	カスケード乳剤	4000	
9月29日	オーソサイド	800	
11月1日	ダニサラバ	1000	
	パロック	2000	
11月13日	サンマイトフロアブル	1000	
	アデオオン	3000	

ナス			
月日	薬品名	倍率等	備考
4月17日	オンコル粒剤	1g/株	
6月7日	サンヨール	7000	
	カスケード乳剤	2000	
6月18日	モスピラン水和剤	4000	
	ダコニール	1000	
7月9日	アミスター	2000	
	アグロスリン	2000	
7月30日	マイトコーネ	1000	
	ダコニール	1000	
8月8日	ハチハチ乳剤	1000	
	ロブラール水和剤	1000	
8月25日	エスマルク	1000	
	カンタス	1000	
	ディブテックス	1000	
9月12日	アミスター	2000	
	コルト	4000	
	アカリタッチ	2000	

トマト			
月日	薬品名	倍率等	備考
9月3日	ビスダイセン	800	温室(秋作)
	アタブロン	2000	
9月10日	モスピランジェットVP	5個	
9月14日	アブロード水和剤	1000	
	ジマンダイセン	800	
	アグロスリン	2000	
9月21日	ハチハチフロアブル	1000	
	ダコニール	1000	
10月3日	アブロードエースフロアブル	1000	
	アクタラ	2000	
	ビスダイセン	800	
10月30日	コルト	4000	
	カスケード	2000	
	アミスター	2000	
12月27日	ハチハチフロアブル	1000	
	アブロードエースフロアブル	1000	
	ダコニール	1000	

ソラマメ			
月日	薬品名	倍率等	備考
2月24日	ジマンダイセン	500	
3月28日	ビスダイセン	600	
5月8日	トレボン	1000	
	アデオオン	3000	
11月30日	ジマンダイセン	500	

キュウリ			
月日	薬品名	倍率等	備考
4月19日	ランマン	1000	温室(春作)
	マラソン	1000	
6月7日	スクレタン	500	露地
	カスケード乳剤	2000	
	アクタラ	3000	
6月18日	モスピラン水和剤	2000	
7月9日	アミスター	2000	
	アグロスリン	2000	
7月30日	マイトコーネ	1000	
	ダコニール	1000	
8月25日	エスマルク	1000	
	カンタス	1000	
	ディブテックス	1000	
9月12日	アミスター	2000	
	コルト	4000	
	アカリタッチ	2000	
9月10日	カスケード乳剤	2000	温室(秋作)
	キノンドー	1200	
9月14日	トップジン	1500	
	アフアーム	2000	
9月21日	アーデント	1000	
	ハチハチフロアブル	1000	
10月3日	アブロードエースフロアブル	1000	
	アクタラ	2000	
	ビスダイセン	800	
10月30日	コルト	4000	
	カスケード	2000	
	アミスター	2000	

おこなった。苗の出来も良くまた量も十分確保出来たことから苗の販売も行った。苗の乾燥が十分でなかった為、定植後に根アブラムシが発生して収穫が遅れた。全体の収穫も遅れたが3月の低気温の為か抽苔が例年よりも遅く4月まで収穫が出来た。

タマネギは‘フォーカス’‘マッハ’‘アトン’‘猩々赤’の4品種を用いた。初めて栽培した‘フォーカス’は‘マッハ’よりも早く収穫ができ、葉つき玉ねぎとして4月上旬より出荷した。‘アトン’は吊るして乾燥させ9月頃まで販売を行った。播種、定植、収穫の一部を、学生実習の教材として利用した。

エンサイ・ツルムラサキ・モロヘイヤは5月1日に播種した。つる性葉菜は腋芽の育成と収穫(摘芯)を繰り返すことで初秋までの収穫が可能であり、真夏の葉菜類が少ない時期に供給できる野菜として有望である。

3) 根菜類

カンショは昨年と同様に‘紅あずま’と‘こがね千貫’の2品種を栽培した。植え付けは実習主体に行った。5月17日は‘紅あずま’2000本と‘こがね千貫’600本。5月31日は‘紅あずま’2000本の植え付けを行った。本畑採苗を行い6月17日に‘紅あずま’1500本分を、6月28日に‘こがね千貫’500本分を植え付けた。‘紅アズマ’の初期生育は良好で、夏季も旺盛で順調に推移した。病害虫の発生も少なく、生産量も昨年同様良好であった。‘こがね千貫’は岡大焼酎に供し、‘紅あずま’は一般開放の芋ほりと販売に供し好評を得た。

サトイモは‘石川早生’‘赤芽’‘エグイモ’の3品種を栽培した。4月8日に種芋の準備を行った。種芋は3品種とも親芋を主に採取していることから、分割し石灰を塗布した。植え付けは4月12日に行った。収穫は11月7日に実習で行った。夏季の灌水も十分行なうことが出来、生育も良好であった。隣接で緑肥用ソルゴーの栽培をすることで、サトイモの害虫発生が減少した。

バレイショは2~3年不作が続いている。圃場の排水が悪く、植え付け後の種芋の腐敗が主因と思われる。今年は湿害対策として高畦栽培を行い、マルチ栽培、平畦栽培との比較を行った。春は‘ダンシャク’‘メークイン’‘デジマ’‘アンデス’の4品種

を栽培した。3月3日に植え付けを行った。遅霜対策として20cmの深さに植え付けを行った。植え付け後の天候に恵まれたことと、高畦の効果もあって欠株が少なく、初期生育も良く順調であった。秋は‘デジマ’と‘アンデス’の2品種を栽培した。栽培方法は春と同じマルチ栽培と平畦栽培を行った。9月15日に植え付けを行ったが、翌日に大雨で畦間に水が溜まる状態で種芋の腐敗が多く、平畦で約7割が、マルチ栽培で約2割が腐敗して萌芽しなかった。残っていた種芋と萌芽した芋をまとめて移植栽培を行った。収穫は‘デジマ’を11月21日に実習で行い、‘アンデス’を11月28日に行い、来年度の種芋として一部保存した。

4) 豆類・スイートコーン

エダマメとスイートコーンは全て移植栽培を行い、ビニルハウス栽培と露地栽培の作付け体系を行っている。エダマメの播種は80穴セルを使用して1穴2粒を播き、スイートコーンは128穴セルを使用して1穴1粒を播種した。エダマメは例年の3品種から‘サヤムスメ’と‘大勝白毛’の2品種を加えて5品種の栽培を行った。育苗・初期生育とも順調であった。病害虫も少なく高収量が得られた。スイートコーンは2品種で早生の‘カクテル’と晩生の‘バンタム’を栽培した。防鳥対策として晩生の品種選定は効果があったが、収穫期が8月になりアワノメイガによる被害が大きかった。

落花生は昨年度に収穫したものから自家採種し、苗の移植栽培を行った。40cm間隔の1条植えとしたことで、夏場の病気の発生が少なく、前年度と比べて多収となった。茹でて食する生落花生として販売を行い、岡山県では珍しいこともあり即完売した。

その他の豆類として、春にインゲン豆・ソラマメ・エンドウ豆、夏にササゲの栽培も行っている。

5) 花き

露地キクは主に冬至芽の移植栽培を行なっているが、移植時期が遅れると短茎で収穫が不能となることから3月下旬より行った。電照キクは例年8月中旬に定植を行っている。‘セイスナップ’‘ローズ舞風車’は伸長が旺盛なため、定植を遅らせ8月末に行った。電照は9月上旬より開始し、12月15日の

出荷を目標としているため10月15日で打ち切った。

花苗は花壇苗をポットで栽培している。前年度より作付けを増やし、少量多品種で季節に合わせた花を栽培している。春の花苗生産は、1月から3月の農

閑期と、花の播種時期が重なるため、冬季の仕事として最適である。直売所で花苗販売が定着してきた。

(山奥 隆, 宮地 大介)

(2) 水田部門

平成24年度の乾田直播栽培は、例年と同じく5月中旬頃から播種を開始した。比較的天候にも恵まれ生育は順調であった。移植栽培は苗箱へ5月中旬に播種し、苗の生育は順調に進み、岡山水田、八浜水田共に田植えも平常並みに行え、活着も比較的順調であった。今年は7月上旬からツルビエが大発生し人員減による労働力不足で除草が間にあわなくなり減収の大きな原因となった。水稻の作柄、作況指数は全国平均が540kg/10a「102」、岡山県南部は539kg/10a、「101」であった。

岡山水田は栽培品種をヒノヒカりに統一し、1号水田はガイダンス科目総合農業科学入門で一年次生

全員による手植え移植とし、2号水田は田植え機を用いて成苗（葉齢5～5.5）を移植栽培した。3号水田では、修士・卒業論文作成のための試験が行われ、多くの研究成果が報告された。八浜水田は1号～6号水田で乾田直播栽培し、5号水田の一部に成苗（葉齢5～5.5）を用いた移植栽培を行った。また、カキ殻の多い場所では秋落ちしやすい傾向がみられたため、水田の一部分に追肥を行った。

本農場の水稻収量はアケボノ433kg/10a、ヒノヒカリ532kg/10a、あきまさり374kg/10a、平均404kg/10aとなった。（多田正人）

第1表 栽培面積

作目	栽培様式	品種	栽培圃場及び面積(a)	合計(a)
岡山水田				
水稻	移植	ヒノヒカリ	1号 (40)	40
	移植	ヒノヒカリ	2号 (64)	64
	試験研究用		3号 (25, 研究室・未収穫)	25
八浜水田				
水稻	移植	ヒノヒカリ	5号 (70)	70
	直播	あきまさり	1号 (281) 2号 (158) 4号 (81) 6号 (50)	570
	直播	アケボノ	3号 (69) 5号 (64)	133

第2表 栽培の概要

作目	栽培様式	品種	播種・移植期	播種量 kg/10a	施肥量 (kg/10a)				収穫期
					種類	N	P ₂ O	K ₂ O	
岡山水田									
水稻	移植	ヒノヒカリ	5/14・6/14～15	1.3	LPE80	8～11	8	8	10/9～10/12
八浜水田									
水稻	移植	ヒノヒカリ	6/21～6/23	1.3	LPE80	8～11	8	8	10.16
	直播	あきまさり	5/17～5/31	9	日産Z & LPE80	10～12	7	7	10/17～11/2
	直播	アケボノ	5/18～5/23	6.5	日産Z	10～12	6	6	11/7～11/8

第3表 水稲防除作業内容

	薬品名	圃場名(号田)	使用量(/10a)	月/日
八浜水田				
除草剤	トレファノサイド粒剤	1,2	4kg	5/21 ~ 6/1
	デルカット	5	500cc	6/19
	サラブレッドRXフロアブル	1,2,3,4,5,6	500cc	6/22 ~ 6/30
	ワイドアタック	1,2,3,4,5,6	100cc	6/14 ~ 6/28
	ワイドアタック	1,2,3,4,5,6	100cc	7/9 ~ 7/10
	サキドリ	4,5	500cc	6/21
	クリンチャー EW	1,2	100cc	7/27 ~ 8/3
殺虫・殺菌剤	アドマイヤー顆粒	1,2,3,4,5,6	24g	5/10 ~ 5/30
	ルーチンアドマイヤースピノ	5	890g	5/14
	ブラシンフロアブル	1,2,3,4,5,6	93cc	8/29 ~ 8/31
	ロムダンゾル	1,2,3,4,5,6	93cc	8/29 ~ 8/31
	モンカットフロアブル	1,2,3,4,5,6	93cc	8/29 ~ 8/31
	トレボン乳剤	1,2,3,4,5,6	93cc	8/29 ~ 8/31
	岡山水田			
除草剤	デルカット	1,2	500cc	6/8
	ダイナマン	1,2,3	500cc	6/15
殺虫・殺菌剤	ルーチンアドマイヤースピノ	1,2,3	890g	5/21
	ブラシンフロアブル	1,2,3	95cc	8/16
	ロムダンゾル	1,2,3	95cc	8/16
	モンカットフロアブル	1,2,3	95cc	8/16
	スタークル水和剤	1,2,3	95cc	8/16

(3) 果樹部門

平成24年の生産概要を第1表に、作目ごとの薬剤防除履歴および植物成長調節物質使用履歴を、第2表から第11表に示した。

今年は比較的穏やかな気候であったため、果樹類の生育はおおむね順調であった。生産物は質の良いものが多く、生産量も確保できたため、総収入額は907万8871円と前年よりも増加した。

1月に装置化施設内の大温室を解体し、3月には跡地に、耐久性のあるフッ素系フィルムを展開した間口8m×奥行24mの2連棟鉄骨ハウスが完成した。このハウスでは、マスカット・オブ・アレキサンドリアなどブドウ4品種の栽培を開始した。

フィールド科学センターの新たな取り組みとして、岡山県青果物販売(株)と共同で「岡大農場」スイーツの開発が行われた。果実類では、ジュレ、アイスクリーム、プリン、およびゼリーの原料として、モモの過熟果と軽微な虫害を受けた果実440kg、ブドウの‘ピオーネ’100房と‘藤稔’50房を使用した。これらのスイーツは、大学生協のほか、駅や空港で販売された。

1) モモ

モモ全体の生産量と収入金額は共に前年並みであった。2月、3月の低温により、発芽と開花が例年よりも10日程度遅れたが、その後の生育は順調で、例年通りの時期に収穫期を迎えた。

主な品種の平均糖度は‘日川白鳳’では11度、‘紅清水’では12度、‘清水白桃’では11～17度、‘川中島白桃’では14～17度、‘白麗’では17度であった。特に、7月下旬から8月上旬は晴天の日が続いたため、8月上旬に収穫した果実の平均糖度が高かった。

進物用の主力品種である‘清水白桃’では、変形果の割合が低く、収穫期後半には糖度が上昇したため秀品率が高く、販売収入は前年の1.4倍であった。‘ゴールデンピーチ’では生産量が前年よりも減少したが、大玉の果実が多く、虫害が少なく、秀品率が高かった。

4号園ではコスカシバによる樹幹部の食害が目立つようになり、特に‘あかつき’の成木2本が著しく衰弱した。また、新植の苗木の生育は、連作の影

響もあって不安定で、前年3月に定植した3本の苗木すべてが凍霜害や獣害によって枯死した。

2) ブドウ

2月、3月の低温のため例年よりも1週間程度発芽が遅れたが、その後の生育は各品種ともおおむね順調で、ほぼ平年並みの作柄であった。

主な品種では、‘藤稔’は房型、着色ともに良好で、糖度は18～20度で食味が良かった。‘瀬戸ジャイアンツ’は果粒の肥大が良く、前年よりも早い9月下旬に収穫できたため果皮の汚れが少なく、好評であった。‘ゴルビー’は例年になく着色が良かった。

小温室の‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’は、全樹、研究室の水分ストレス試験と無核果形成試験に供した。大温室が廃止されたこともあって、‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’の生産量は前年の約2分の1であった。

3月に旧大温室跡地に竣工した鉄骨ハウスには、完成直後の3月末にブドウ4品種10本を栽植した。内訳は‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’4本、‘シャインマスカット’3本、‘瀬戸ジャイアンツ’2本、‘グローコールマン’1本で、このうち‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’2本は南圃場ガラス室から2年生樹を移植し、それ以外の8本は購入した1年生苗木を定植した。南圃場ガラス室の移植樹跡には、3月末に‘オーロラブラック’2本を定植した。

前年から衰弱傾向が見られた3号園の‘ネオ・マスカット’は、主枝を短縮し、花穂をすべて落としたが、樹の衰弱が進み、秋には枯死した。

粗皮剥ぎに加えて、4月にアルバリン顆粒水溶剤の樹幹塗布を3号園成木で行った効果もあって、ブドウでのコナカイガラムシの発生は少なかった。

3) その他の果樹

カキでは、各品種ともほぼ前年並みの生産量であった。‘愛宕’では、前年の約4分の3の生産量であったが、250g程度の大玉が中心であった。脱渋後の果実の日持ちが悪い‘平核無’では、CO₂処理時に1-MCPを加えることで果実の軟化を抑える方法

第1表 平成24年果樹部門生産概要（岡山農場）

種類	品 種	面積(a)	販売数量(kg)	収入金額(円)
モモ	あかつき	4.0	611	402,997
	紅清水	7.2	723	464,154
	清水白桃	10.7	823	844,113
	ゴールドンピーチ	4.0	579	376,235
	川中島白桃	1.4	281	205,422
	白桃	0.6	87	66,800
	日川白鳳	1.4	126	63,000
	白麗	0.6	92	84,850
	白鳳	3.3	251	156,600
	ネクタリン（秀峰）	0.8	110	73,200
	その他品種	4.0	242	118,818
	加工用桃（各品種合計）		440	117,400
ブドウ	藤稔	6.2	1,204	844,898
	ピオーネ	5.2	937	634,039
	巨峰	2.6	424	285,156
	マスカット・ベリーA	4.2	650	298,758
	ヒロハンプルグ	1.4	427	207,374
	アーリー・スチューベン	1.7	338	147,017
	デラウェア	1.7	198	103,850
	安芸クイーン	1.0	144	98,295
	瀬戸ジャイアンツ	0.8	341	269,580
	オーロラブラック	1.6	262	181,981
	翠峰	0.9	226	173,063
	ゴルビー	1.4	281	195,905
	ハニーシードレス	0.7	101	67,040
	サニールージュ	0.5	117	76,078
	マスカット・オブ・アレキサンドリア	6.4	352	352,181
その他品種	0.9	142	96,460	
カキ	富有	5.1	692	149,983
	松本早生富有	3.5	319	57,762
	平核無	3.5	1,090	185,022
	西条	3.5	555	125,335
	愛宕	5.2	1,404	208,302
	その他品種	2.0	217	37,400
リンゴ	つがる	2.6	305	132,740
	ふじ	2.6	122	40,140
	その他品種	0.8	58	23,930
キウイフルーツ		7.4	1,608	530,360
ウメ		4.2	421	171,663
ビワ		3.1	117	58,008
スモモ		3.0	45	24,920
ウンシュウミカン		4.5	725	195,950
レモン		1.4	67	37,750
ユズ		6.1	24	8,000
ブルーベリー		0.7	48	75,945
その他			48	10,397

を一部で試み、一定の効果が得られた。
リンゴでは、‘つがる’は前年並みの生産量であっ

たが、‘ふじ’では着花数が多く、前年よりも200kg
以上生産量が増えた。両品種とも栽植6年目である

が、‘ふじ’では隔年結果の傾向が現れ始めた。
 キウイフルーツでは、前年に収穫した果実を随時追熟して3月初めまで販売した。今年の栽培では、カメムシやガによる吸汁害やススハン病の発生が多く、秀品率が低かった。収穫量は約2400kgで前年

よりも多く、収穫した果実は12月から販売を始めた。
 ウンシュウミカンとレモンでは、樹冠の拡大が進んでハウス内の通風が悪化し、夏期以降のダニ類の発生が多く、葉の黄化や落葉が見られた。
 (近藤毅典, 山本昭, 酒井富美子)

第2表 モモの薬剤防除履歴 (平成24年)

月/日	薬品名	倍率等	備考
3/8	石灰硫黄合剤	7	
3/30	銅シン水剤	500	
4/17	コンフューザーMM	260本/20.9a	
4/18	ロブラール水剤	1500	
5/1	オンリーワンフロアブル	2000	
〃	アディオ乳剤	2000	
5/10	ストロビードライフロアブル	2000	
〃	アルバリン顆粒水剤	2000	
5/24	ベルケート水剤	2000	
〃	バリダシン液剤5	500	
〃	ノーモルト乳剤	2000	
5/28, 31, 6/6	スペックス水剤	500	袋掛け対象樹のみ
〃	フェニックス顆粒水剤	4000	袋掛け対象樹のみ
6/4	ベルケート水剤	2000	
〃	ダズバンドF	3000	
6/11, 22	ストロビードライフロアブル	2000	袋掛け対象樹のみ
〃	フェニックス顆粒水剤	4000	袋掛け対象樹のみ
6/20	オンリーワンフロアブル	2000	
〃	アルバリン顆粒水剤	2000	
6/26	ストロビードライフロアブル	3000	袋掛け対象樹のみ
〃	スカウトフロアブル	2000	袋掛け対象樹のみ
〃	コテツフロアブル	2000	袋掛け対象樹のみ
7/9	サムコルフロアブル10	5000	
〃	ダニゲッターフロアブル	2000	
8/7, 9	ダイアジノン水剤34	1000	一部のみ
8/9	ダニサラバフロアブル	1200	一部のみ
10/5	ビスダイセン水剤	500	
〃	スプラサイド水剤	1500	
12/12	マシン油乳剤95	20	

第3表 ブドウ（雨よけハウス）の薬剤防除履歴（平成24年）

月/日	薬品名	倍率	備考
4/9, 10, 12	石灰硫黄合剤	7	
〃	ベンレートT水和剤	200	
4/24	アルバリン顆粒水溶剤	2	樹幹塗布
5/7	アプロードフロアブル	1000	
〃	サンマイト水和剤	1500	
5/23	ジマンダイセンフロアブル	800	
〃	スプラサイド水和剤	1500	
5/31	ポリベリン水和剤	1000	
〃	オルトラン水和剤	1500	
6/22	オンリーワンフロアブル	2000	
〃	スプラサイド水和剤	1500	
〃	バロックフロアブル	2000	
6/26, 28, 29, 7/4	ストロビードライフロアブル	3000	
〃	スカウトフロアブル	2000	
〃	コテツフロアブル	2000	
9/26, 28, 10/26, 11/29, 12/5	IC ボルドー 66D	50	
〃	スミチオン水和剤	800	

第4表 ブドウ（ガラス室）の薬剤防除履歴（平成24年）

月/日	薬品名	倍率等
3/30	オマイト水和剤	1000
5/2	インダーフロアブル	8000
〃	アプロードフロアブル	1000
〃	ウララドライフロアブル	2000
5/18	ポリベリン水和剤	1000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
6/1	オンリーワンフロアブル	2000
〃	オルトラン水和剤	1500
6/20	ストロビードライフロアブル	3000
〃	コテツフロアブル	2000
7/6	カンタスドライフロアブル	1500
〃	テルスターフロアブル	4000
8/3	カネマイトフロアブル	1500

第5表 ブドウの植物成長調節剤使用履歴（平成24年）

月/日	品 種 名	薬品名・濃度
5/8	デラウェア	ジベレリン100ppm+ストレプトマイシン200ppm
5/22	ピオーネ（1号園）	ジベレリン25ppm
5/28	巨峰	ジベレリン25ppm+フルメット0.5ppm
〃	ピオーネ（3号園）, 安芸クイーン, ゴルビー, サニールージュ	ジベレリン25ppm
5/29	シャインマスカット	ジベレリン25ppm+フルメット5ppm+ストレプトマイシン200ppm
〃	オーロラブラック	ジベレリン25ppm
5/30	ハニーシードレス	ジベレリン100ppm
〃	藤稔	ジベレリン25ppm+フルメット0.5ppm
〃	翠峰	ジベレリン25ppm
6/1	デラウェア	ジベレリン100ppm
〃	アーリー・スチューベン	ジベレリン50ppm
〃	ピオーネ（1号園）	ジベレリン25ppm
6/1, 4	紫苑	ジベレリン25ppm
6/4	瀬戸ジャイアンツ	ジベレリン25ppm+フルメット5ppm
6/5	ピオーネ（3号園）, 巨峰, 安芸クイーン, ゴルビー, サニールージュ	ジベレリン25ppm
6/8	ヒロハンプルグ	ジベレリン100ppm
〃	藤稔, オーロラブラック, シャインマスカット, 翠峰	ジベレリン25ppm
6/11	マスカット・ベリーA	ジベレリン50ppm
〃	紫苑	ジベレリン25ppm
6/14	瀬戸ジャイアンツ	ジベレリン25ppm

第6表 カキの薬剤防除履歴（平成24年）

月/日	薬 品 名	倍 率
3/19	石灰硫黄合剤	7
5/8	ベルコート水和剤	1500
〃	オルトラン水和剤	1000
6/11	オンリーワンフロアブル	2000
〃	アーデント水和剤	1000
7/9	ストロビードライフロアブル	3000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
8/7	スプラサイド水和剤	1500
〃	フェニックス顆粒水和剤	4000
9/20	トップジンM水和剤	1500
〃	ダントツ水溶剤	4000
12/12	マシン油乳剤 95	20

第7表 キウイフルーツの薬剤防除および植物成長調節剤使用履歴（平成24年）

月/日	薬 品 名	倍率等
3/8	石灰硫黄合剤	7
6/25, 26	フルメット液剤	5ppm
10/3	ベルコート水和剤	1000

第8表 リンゴの薬剤防除履歴（平成24年）

月/日	薬品名	倍率等	備考
3/8	石灰硫黄合剤	7	
4/26	スコア顆粒水和剤	3000	
〃	ウララドライフロアブル	2000	
5/16	ストロビードライフロアブル	2000	
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000	
〃	ダニトロンフロアブル	1000	
6/13	ベルコート水和剤	1000	
〃	スプラサイド水和剤	1500	
〃	マイトコーネフロアブル	1000	
7/2	アーデント水和剤	1000	
〃	バロックフロアブル	2000	
7/20	ストップール液剤	1000	つがるのみ
7/31	ダントツ水溶剤	3000	
〃	ダニゲッターフロアブル	2000	
9/13	アルバリン顆粒水和剤	2000	
〃	コロマイト水和剤	2000	
12/27	マシン油乳剤95	20	

第9表 ウメの薬剤防除履歴（平成24年）

月/日	薬品名	倍率
1/30	石灰硫黄合剤	7
4/17	ベルコート水和剤	2000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
5/16	ストロビードライフロアブル	2000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
12/27	マシン油乳剤95	20

第10表 スモモの薬剤防除履歴（平成24年）

月/日	薬品名	倍率
3/7	石灰硫黄合剤	7
4/12	スコア顆粒水和剤	2000
〃	スカウトフロアブル	2000
5/16	ストロビードライフロアブル	2000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
7/31	ダントツ水溶剤	3000
〃	ダニゲッターフロアブル	2000
12/13	マシン油乳剤95	20

第11表 カンキツ類の薬剤防除履歴（平成24年）

月/日	薬品名	倍率
5/16	ストロビードライフロアブル	2000
〃	アルバリン顆粒水和剤	2000
〃	ダニトロンフロアブル	1000
6/13	ベルコート水和剤	1000
〃	スプラサイド水和剤	1500
〃	マイトコーネフロアブル	1000
7/5	スプラサイド水和剤	1500
〃	ダニエモンフロアブル	4000
9/13	アルバリン顆粒水和剤	2000
〃	コロマイト水和剤	2000

(4) 畜産部門

1) 津高牧場（繁殖牛）

平成24年の飼育牛移動状況を第1表に示す。子牛生産頭数は、雌が23頭、雄が20頭の計43頭であった。本年は、繁殖牛の流産や分娩時の事故などはなかった。

本年の販売総数は36頭で、そのうち子牛が34頭、肥育牛が2頭であった。

繁殖成績を第2表に示す。本年は、人工授精で38頭と受精卵移植で3頭を受胎させることができ、昨年より1頭多かった。前年と比較して、受精卵移植の受胎頭数が1頭から3頭に増えたが、今後とも、移植頭数を増やし、購入の受精卵の導入により改良も進め、今後も牛の観察と飼養管理に気を配りながら、1頭でも多くの牛を受胎できるように努力してゆきたい。

子牛の販売成績を、第3表に示す。出荷頭数は、去勢16頭、雌18頭の合計34頭であった。出荷日齢は、前年と比較して、去勢で12日、雌で4日短かった。出荷体重は、前年と比較して、去勢では13kg、雌では4kg増えた。価格は、前年より去勢、雌とも高値であった。本年の子牛の発育は、去勢、雌とも良好な発育であった。現在子牛市場で実施されている「岡山和牛推奨子牛」の表示販売で当牧場の去勢牛3頭が「おかやま四つ星子牛」として販売された。飼養管理技術を向上して、今後も「おかやま四つ星子牛」を目標にした子牛の飼養管理を行ってゆきたい。本年も、コクシジユウム症の発症はなかった。今後も下痢の発生を抑え、下痢が発生した場合には、早期発件・早期治療に努めてゆきたい。

枝肉販売成績を、第4表に示す。

第1表 平成24年飼育移動状況

		雌				雄			合計	
		子牛	育成牛	繁殖牛	肥育牛	子牛	育成牛	肥育牛		
24. 1. 1 現在		15	3	40	1	12	0	-	71	
期間 移動	増	生産	11	-	-	-	6	-	-	17
		振替	-	1	3	2	-	-	-	6
		振替	1	3	2	-	-	-	-	6
	減	へい死	-	-	-	-	-	-	-	0
		売却	5	-	-	1	9	-	-	15
24. 6.31 現在		20	1	41	2	9	0	0	73	
期間 移動	増	生産	12	-	-	-	14	-	-	26
		振替	-	1	1	1	-	-	-	3
		振替	1	1	1	-	-	-	-	3
	減	へい死	-	-	-	-	-	-	-	0
		売却	13	-	-	1	7	-	-	21
24.12.31 現在		18	1	41	2	16	0	0	78	

第2表 平成24年人工授精・受精卵移植成績（24.1.1～24.12.31）

	実施 頭数	受胎 頭数	受胎率 (%)	受精回数							
				1		2		3		4回以上	
				受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎
人工授精	43	38	88.3	30	4	7	-	1	1	-	-
受精卵移植	6	3	50.0	3	3	-	-	-	-	-	-

第3表 平成24年子牛販売成績

販売年月日	耳番号	生年月日	性別	生後日齢(日)	体重(kg)	日齢体重(kg/日)	落札価格(千円)	kg当り単価(円)	母牛番号	父牛名号
24. 1.28	P110	23. 5.27	去	298	262	1.069	388	1,391	Y251	北平安
	P111	23. 6. 4	雌	237	247	1.042	383	1,456	Y225	安福勝
	P112	23. 6. 5	去	256	273	1.060	377	1,465	Y226	安茂勝
24. 3. 9	P113	23. 6.18	去	265	281	1.060	451	1,605	Y238	福安照
	P114	23. 7.11	去	242	280	1.157	423	1,511	Y253	菊花国
	P116	23. 7.19	去	234	302	1.291	405	1,341	Y241	茂花国
24. 4.20	P115	23. 7.17	去	278	278	1.000	398	1,432	Y236	西花8
	P117	23. 7.27	去	268	282	1.052	388	1,376	Y235	茂花国
	P118	23. 7.27	去	268	281	1.049	364	1,295	Y235	茂花国
	P119	23. 7.28	雌	267	289	1.082	350	1,211	Y229	藤平茂
24. 6. 1	P120	23. 8. 5	雌	259	303	1.170	350	1,155	Y239	肥後桜
	P121	23. 9. 5	雌	270	278	1.030	317	1,140	Y220	肥後桜
	P123	23. 9.11	雌	264	249	0.943	303	1,217	Y248	安茂勝
24. 7.12	P125	23. 9.28	去	247	317	1.283	403	1,271	Y207	北湖2
	P129	23.11.20	雌	235	273	1.162	346	1,267	Y230	茂洋勝
24. 7.13	P124	23. 9.15	雌	302	258	0.854	278	1,078	Y247	茂花国
	P126	23. 9.30	雌	287	248	0.864	284	1,145	Y217	第5北盛
	P127	23.11.17	雌	239	280	1.172	312	1,114	Y211	藤平茂
	P128	23.11.19	雌	278	240	0.863	328	1,367	Y223	茂洋勝
24. 8.23	P134	23.12.20	去	247	303	1.227	410	1,253	Y210	茂洋勝
	P130	23.11.19	雌	268	248	0.925	331	1,335	Y209	新初英
24. 8.24	P132	23.12. 2	雌	264	263	0.996	326	1,240	Y231	肥後桜
	P135	23.12.25	去	242	325	1.343	343	1,055	Y250	安福勝
	P136	24. 1. 4	去	232	267	1.151	377	1,412	Y243	菊花国
	P131	23.11.29	去	311	272	0.875	341	1,254	Y254	福安照
24.10. 5	P133	23.12. 5	雌	305	277	0.908	323	1,166	Y242	第6栄
	P137	24. 1. 4	雌	275	286	1.040	336	1,175	Y213	肥後桜
	P138	24. 1.17	雌	262	244	0.931	303	1,242	Y256	菊花国
	P139	24. 2. 1	雌	247	245	0.992	307	1,253	Y255	菊花国
	P140	24. 2.29	雌	254	262	1.031	342	1,305	Y246	沢茂勝
24.11. 9	P142	24. 3.27	去	227	255	1.123	393	1,541	Y228	安茂勝
	P143	24. 4.17	雌	241	259	1.075	366	1,413	Y233	安福勝
24.12.16	P144	24. 4.28	去	230	276	1.200	403	1,460	Y216	肥後桜
	P145	24. 5. 1	去	227	302	1.330	439	1,454	Y245	菊花国
	平均	全頭	34	257	274	1.074	356	1,301		
	去勢	16	250	286	1.151	393	1,381			
	雌	18	264	264	1.005	323	1,229			

第4表 平成24年枝肉販売成績

と殺年月日	耳番号	性別	水引枝肉重量(kg)	枝肉規格	枝肉単価(円/kg)	売上金額(千円)
24. 6.21	Y218	雌	396.8	B-2	450	178,560
24. 8.28	Y239	雌	443.6	B-2	650	288,340

2) 草地生産

平成24年における飼料作物の生産状況を第5表に示す。採草地における飼料作物の青草換算による収量は205,440kgであり、10a当たり平均収量は4,142kgであった。採草地と放牧草地との収量を合わせた総収量は359,200kgとなった。利用形態別による収量割合は青刈りで31.8%、乾草で25.4%、放牧で42.89%となった。

乾草調製用の材料草としてE号、K2号、K3号草地からイタリアンライグラス、スーダングラス、D2号とK1号草地からイタリアンライグラスを収穫した。本年の乾草収量は、平成23年に比べ、生草換算で30%の増収であった。E号とK1号とK3号のイタリアンライグラスは順調に収穫できたが、D2号は天候に恵まれず、収穫時期が遅れ、あまり良い物はとれなかった。

サイレージ調製用の材料として、A号、D2号、K1号草地にトウモロコシを播種したが、イノシシによる食害や悪天候により、サイレージ調製を断念

し、青刈り給与とした。D2号はイタリアンライグラスの収穫の遅れによりトウモロコシの播種が遅れたため、作柄は良くなかった。本年は、イノシシ対策として牧場の外周に防護の金網を設置したが、イノシシが食料を求めて、金網を押し曲げて侵入、そこを修理すると、他の所から侵入された。そこで、地域猟友会駆除班の協力により、9頭のイノシシを駆除してもらった。今後も、金網の点検・補修と駆除班の協力を得ながら、イノシシ対策を進めてゆきたい。

本年もイチビが発生し、トウモロコシは、生育処理を行ったが、イチビ発生したところは除草をおこなった。今後も、薬剤処理技術を粗飼料生産システムに組み入れて、少しでも多くの収穫が得られるようにしたい。

放牧草地では、今年もオナモミ、ワルナスビ、イグサ、セイタカアワダチソウなどの雑草がみられ、学生実習での除草と除草剤を使って除草作業を行った。今後も、継続して除草作業を行う予定である。

第5表 平成24年 津高牧場飼料作物生産量

草地	面積 (a)	作物	利用形態別収量(kg)				放牧 延頭数	生草換算 収量(kg)	草地当り収量(kg)	
			青刈	乾草	サイレージ	放牧			生草合計 収量	10a当り 平均収量
A	100	トウモロコシ	9,920				9,920	9,920	992	
D 2	130	イタリアンライグラス	12,420	1,360			19,220	60,330	4,641	
		トウモロコシ	41,110				41,110			
E	76	イタリアンライグラス	3,000	2,620			16,100	40,010	5,264	
		スーダングラス	12,710	2,240			23,910			
K 1	90	イタリアンライグラス	1,900	2,910			16,450	22,350	2,483	
		トウモロコシ	5,900				5,900			
K 2	60	イタリアンライグラス	2,500	2,450			14,750	37,330	6,222	
		スーダングラス	10,930	2,330			22,580			
K 3	40	イタリアンライグラス	3,410	2,330			15,060	35,500	8,875	
		スーダングラス	10,440	2,000			20,440			
計	496		114,240	18,240			205,440	205,440	4,142	
B	65	混播牧草				23,080	577	23,080	23,080	3,551
C	120	混播牧草				27,800	695	27,800	27,800	2,317
D 1	20	混播牧草				3,200	80	3,200	3,200	1,600
F	104	混播牧草				29,000	725	29,000	29,000	2,788
G	112	混播牧草				28,320	708	28,320	28,320	2,529
H	47	混播牧草				3,600	90	3,600	3,600	766
I	185	混播牧草				38,760	969	38,760	38,760	2,095
計	653					153,760	3,844	153,760	153,760	2,355
合計	1149		114,240	18,240		153,760	3,844	359,200	359,200	3,126

利用形態別における生草換算収量 (kg)

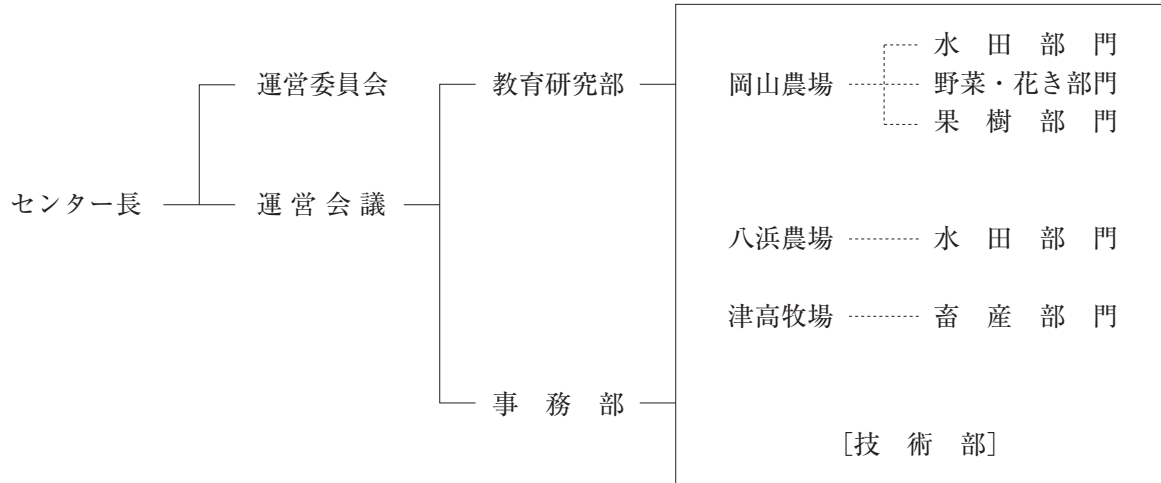
青刈	乾草	サイレージ	放牧	合計
114,240	91,200	0	153,760	359,200

*乾草の生草換算は×5

2. 事務部

(1) 組織

1) 機構



2) 教職員数

平成24年4月1日現在

区分	教育職員 (一)	一般職員 (一) 技術・事務職員	計	非常勤職員	合計	備考
センター長	1		1		1	教授
主事	1		1		1	教授
教授	1		1		1	
助教	1		1		1	
班長		1	1		1	
副班長		1	1		1	
主任		4	4		4	
技術職員		2	2		2	
事務室長		1	1		1	
主査		1	1		1	
事務職員		1	1		1	
計	4	11	15		15	
事務補佐員				2	2	
技能補佐員				3	3	
技術補佐員				4	4	
計				9	9	
合計	4	11	15	9	24	

3) 技術部部門別職員数

部 門	平成24年4月1日現在		
	技術職員	非常勤職員	合 計
水田	1	1	2
野菜・花き	3	4	7
果樹	2	1	3
畜産	2		2
その他		1	1
合 計	8	7	15

(2) 予算及び収入

1) 予 算

平成24年度 事 項	金 額 (円)
センター経費	48,454,322
事務室経費	398,458
半田山自然教育研究林経費	418,746
合 計	49,271,526

2) 収 入

平成24年度					(円)
区 分	野菜・花き	汎用耕地	果樹部門	山地畜産	合 計
果 菜 類	6,251,265	-	-	-	6,251,265
葉 菜 類	4,539,537	-	-	-	4,539,537
根 菜 類	2,611,232	-	-	-	2,611,232
花 き 類	1,003,961	-	-	-	1,003,961
果 樹	-	-	9,229,981	-	9,229,981
米	-	9,574,850	-	-	9,574,850
牛	-	-	-	13,023,649	13,023,649
合 計	14,405,995	9,574,850	9,229,981	13,023,649	46,234,475

(3) 土地, 建物面積

1) 土 地

農場等名	面 積 (㎡)	所 在 地
岡山農場	91,992	岡山市北区津島桑の木町1-62
八浜農場	89,536	玉野市東七区
津高牧場	312,484	岡山市北区日応寺
合 計	494,012	

(4) 備品類及び営繕工事

1) 備品類 (1件50万円以上)

平成24年度

	備品類名	数量 (式)	金額 (円)
岡山農場	アテックス運搬車	1	590,000
八浜農場	昇降機	1	813,750
岡山農場	POSシステム	1	4,998,000

(5) 会議開催状況

1) 運営委員会

開催なし

2) 運営会議

開催月日	協議事項	報告事項
24. 4. 4	<ol style="list-style-type: none"> 平成24年度ワーキンググループ一覧について 平成24年度春季全国大学附属農場協議会について (5/10, 11) 果樹部門のパート雇用について センターのホームページについて その他 	<ol style="list-style-type: none"> 平成24年度センター実習について フィールド科学センター利用申込状況について 技術部会議等について 生産物の販売について 予算執行見込について その他
24. 5. 2	<ol style="list-style-type: none"> 平成24年度中国・四国地域大学附属農場協議会について ゴールデンウィーク・夏季一斉休業制度への対応について その他 	<ol style="list-style-type: none"> 平成24年度センター実習について 平成24年度ジュニア講座について フィールド科学センターのロゴマーク『岡大農場』の商標登録について フィールド科学センター・半田山教育研究林利用申込状況について 技術部会議等について フィールド科学センター生産物販売について 23年度予算執行見込について その他
24. 6. 6	<ol style="list-style-type: none"> 平成24年度大学間連携共同教育推進事業について その他 	<ol style="list-style-type: none"> 平成24年度春季全国大学附属農場協議会について 平成24年度センター実習について フィールド科学センター利用申込状況について

開催月日	協議事項	報告事項
24. 6. 6		4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター生産物販売について 6. その他
24. 7. 4	1. その他	1. 中国・四国地域大学附属農場協議会について 2. 夏季集中実習について 3. センター報告 34 号について 4. フィールド科学センター利用申込状況について 5. 技術部会議等について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. その他
24. 8. 1	1. 平成 23 年度決算について 2. 平成 24 年度予算配分（案）について 3. その他	1. 中国・四国地域大学附属農場協議会について 2. 夏季集中実習について 3. 技術部会議等について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. その他
24. 9. 5	1. センター南圃場及び研究圃場への送水管破損、故障による修繕について 2. センター実習棟ポンプ室水中ポンプの取替修理について 3. その他	1. センター報告 34 号の発行について 2. 夏休み後半集中実習について 3. 津高牧場水質検査について 4. フィールド科学センター利用申込状況について 5. 技術部会議等について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. その他
24.10. 3	1. 1 農場 1 アピールについて 2. 秋季全国大学附属農場協議会について (11/15,16) 3. その他	1. 岡山農場電気保安点検終了について 2. 夏季集中実習と後期の実習について 3. 津高牧場鎮魂祭について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター生産物販売について 6. その他

開催月日	協議事項	報告事項
24.11. 7	1. その他	1. 消防署立ち入り検査の指摘事項について 2. 人事課との意見交換会について 3. 技術部会議等について 4. センター生産物販売について 5. その他 ・センター報告 ・センター概要の作成
24.12. 5	1. 平成 25 年度非常勤職員の採用計画について 2. 平成 25 年度作付計画について 3. 平成 24 年度予算執行額について 4. 津高牧場バーンクリーナーの修理 5. その他	1. 平成 24 年度秋季全国大学附属農場協議会について 2. 技術部会議等について 3. センター生産物販売について 4. その他 ・センター報告 ・センター概要 ・センターホームページ
25. 1. 9	1. 平成 25 年度非常勤職員の採用計画について 2. 平成 25 年度作付計画について 3. 平成 24 年度予算執行額について 4. 1 農場 1 アピールについて 5. 第 35 号センター報告の原稿依頼について 6. その他	1. GJ 支援センターとの販売所運営に関する話し合いについて 2. 平成 25 年度センター実習計画について 3. センター生産物販売について 4. 技術部会議について 5. その他 ・果樹園周辺樹木の剪定 ・センター報告 34 号 ・センター概要 ・センターホームページ
25. 2. 6	1. 予算執行見込みについて 2. 平成 25 年度センター併任教員について 3. 平成 25 年度センター専任教員のコースへの併任について 4. 平成 25 年度農学部部内委員会委員名簿について 5. 技術部技術職員体験発表会について 6. 天満屋への平成 25 年度出店更新について 7. その他	1. GJ 支援センターとの販売所運営に関する話し合いについて 2. 平成 25 年度センター実習計画について 3. センター生産物販売について 4. 技術部会議について 5. その他 ・センター報告 34 号 ・センター概要 ・センターホームページ

開催月日	協議事項	報告事項
25. 3. 6	1. 予算執行見込みについて 2. 平成 25 年度実習実施要項（案）について 3. 天満屋への平成 25 年度出店更新について(再) 4. その他	1. 平成 25 年度特別契約職員・非常勤職員の採用について 2. 採用の遅れに伴う、支援体制について 3. GJ 支援センターによる販売所運営に関する話し合いについて 4. 平成 25 年度公開講座について 5. センター報告について 6. センター概要について 7. センターホームページの更新について 8. 技術部会議等について 9. 生産物販売について 10. その他

(6) 施設開放の状況

施設利用目的, 時期	施設利用者名	期 間	団 体 数 等	参加人数
実習 (10月19日)	岡山理科大学	1日	1団体	教員1名 学生19名
実習 (10月30日)	環境理工学部	1日	1団体	教員1名 学生41名 院生3名
農場見学 (6月28日)	津島小学校	1日	1団体	小学生12名
Jr. サイエンス (6月16日～12月8日)		4日		小学生9名
公開講座 (4月11日～9月12日)	一般市民	23日		40家族
いもほり (10月2日～11月6日)	〈内訳〉 保育園 幼稚園 小学校 親子クラブ その他	各1日	50団体 12団体 16団体 3団体 16団体 3団体	約3,750名